

表7 福島県文化財保護指導委員

氏名	住所	電話No (自宅)	担当地区	所属・職業
富田晴夫	福島市大森字北内町22-2	46-3594	福島	市役所管理課
渡部正俊	福島市瀬上町柳沼48-1	53-1672	伊達	藤田小学校
安田光二	安達町油井字野辺川原81	(02432) 2-2257	安達	農業
水井保彦	郡山市大槻町弥入池南8	(0249) 51-1206	郡山	県立聾学校
小豆畑清種	須賀川市北上町61-2	(02487) 5-3004	岩瀬	天栄中学校
小豆畑毅	石川町下泉145	(02472) 2-2066	石川	県立石川高校
佐久間信次	三春町字山中22	(02476) 2-4871	田村	西向小学校
鈴木四郎	白河市登町10	(02482) 3-4014	西白河	白河中央中学校
佐藤碩芳	矢祭町大字東館字館本34 15840号日棟	(024746) 3266	東白川	棚倉中学校
長尾修	会津若松市一箕町鶴賀字堤29-1	(02422) 4-9778	北会津	会津若松ザベリオ学園 高校
矢部一弥	喜多方市3-4822	(02412) 3-3479	耶麻	県立西会津高校
大越大雄	会津高田町字宮北	(024254) 3148	両沼	行管行政相談委員
白鳳栄海	田島町本町甲3872-1	(02416) 2-0102	南会津	僧侶
堀込静夫	相馬市磯部字大洲29-103	(02443) 3-5515	相馬	中村第1中学校
山田広	富岡町大字本岡字本町358	(02402) 2-0403	双葉	双葉中学校
木田一	いわき市内郷小島町作田22	(0246) 27-4067	いわき	平第三中学校

の所有者等に、文化財の保護に関する指導及び助言を行うほか、地域住民に対し、文化財保護思想についての普及活動を行うことを業務としている。
現在の文化財保護指導委員は、表7のとおりである。

三、文化財保護指導者講習会

本年度の文化財保護指導者講習会は、七月二十五、六の二日間にわたり、

相馬郡鹿島町公民館で開催された。三度を超す猛暑にもかかわらず、参加者は百五十人をかぞえ、熱心に講義に聞き入り、また討議を行った。二十六日午後はバスで万葉公園や県指定史跡中村城跡などの現地研修を行い好評であった。

講習会内容は以下の通りである。

○講義及び講師

「真野古墳群と東北の後期古墳について」

相双教育事務所社教主事 西徹雄
「市町村立歴史民俗資料館の設置と運営について」
武蔵野美術大学講師 相沢昭男
「東北の古絵画」―福島県の仏画を中心に―

東京国立博物館学芸部長 浜田隆

分科会及び事例発表者

「埋蔵文化財の周知について」

日本考古学会員 中村光一

「民俗文化財収集の実際と問題点」

南郷村文化財調査員 安藤紫香

○現地研修

真野古墳群―万葉公園―横手古墳

群―陸前浜街道―中村城跡―相

馬市教育文化センター、博物館―田

代駒焼
次回講習会は県南地区を予定。

四、民俗文化財調査

この調査は、最近の産業経済の発展や社会構造の変移によつて、伝統的な生活様式や風俗習慣が急変し、有形・無形の民俗文化財は急速に失われつつあるので、全県の実態を調査し、保護対策の基礎資料としての調査票を作成するものである。

(一) 調査項目

衣・食・住、生産、運搬・交易、社会生活、信仰、人の一生、年中行事など民俗全般にわたる。

(二) 調査期間と調査地区

生産、生業の典型的な姿をとどめている地区、あるいは生活様式の地方的特色をそなえている地区を、分布が片

寄らないよう百五十か所を選定し、本年は百か所の調査を実施し、来年度は残り五十か所と分布地図の作成を予定している。

(三) 調査方法

地区責任者を兼ねた主任調査員五名と、調査員六十七名を委嘱し、現地探訪によつて調査票を作成する。

五、天然記念物保護増殖(カモシカ)緊急調査

近年特別天然記念物カモシカによる農作物等の被害が起きている。そのためこの調査は十一名の調査員を委嘱して、被害の多い地区と少ない地区におけるカモシカの生息分布状況、食生、社会生態などを比較調査し、また農作物等の被害については、被害回避の方法を実験的に検討し、カモシカの保護と農作物等の被害に対する対策のための基礎資料を作成するものである。
今回は昭和五十四年三月十日までに、福島市茂庭地区を中心に調査する。

六、民俗音楽出版事業

福島県教育委員会は、昭和四十七年、及び昭和四十九年から同五十一年まで、福島県合唱連盟に委託して民俗音楽収集事業を実施してきたが、昨年度はその中から民俗芸能百種の楽譜を、解説、写真つきで出版し好評を得た。本年度は「わらべ歌」を出版の予定である。

曲数は約百曲で、類歌と解説がつき、